

1 株式会社 ローソン

	各社の考え方
<p>□ 算定を行う背景・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の社会的責任として、自社部門だけではなくサプライチェーン全体のCO2排出量を算定することにより、事業全体における地球温暖化への影響度を把握するため。 ● 販売する商品のカーボン・オフセットを実施するに当り、対象の商品の排出量を算定するため。その情報をお客さまに開示することにより、カーボン・オフセットに関する普及・啓発と商品の販売促進につなげるため。 ● ステークホルダーからの情報開示の要請に応えるため、統合報告書、環境報告書およびホームページ等での自社排出量の開示および環境アンケートに対応することで、当社の取組みの理解を図るため。
<p>□ 算定結果の活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンのどの段階で排出しているのかを把握し、削減余地のある分野(項目)の方向性等を検討していく。 ● 当社で導入している省エネ機器等の削減対策の費用対効果等を確認する。 ● 統合報告書、環境報告書およびホームページ等での自社排出量の開示や、環境アンケートの開示資料として利用する。 ● カーボンオフセットの商品開発によりお客さまの環境配慮商品の購入を促進し、お客さまとともに環境活動を推進する。
<p>□ 算定のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記活用方法を通じて、削減ポテンシャルの明確化、削減対策の評価、サプライチェーン排出量の開示、お客さまとの環境活動の推進等が可能になること。
<p>□ 社内の算定体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境推進部門がデータを収集した。収集元は下記のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・製造ベンダー、配送センターデータ→各社へ環境アンケート、及び当社商品仕入額データ ・廃棄物排出量→電子マニフェスト、廃棄物管理会社データ、省エネ法・容リ法資料データ ・その他→経理書類等 ● 算定は同部門で行った。

2

株式会社 ローソン

	各社の考え方
<p>□ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 効果の高い省エネ機器やノンフロン型(CO2冷媒)冷凍・冷蔵システム等の省エネルギー機器の導入、エコドライブの推進、レジ袋・割り箸使用量の削減、包材の軽量化や非石油化の推進等の削減施策を行なっている。 ● 今回行った算定を通じて、サプライチェーンのどの部分の削減ポテンシャルが高いかを把握し、より効率的な削減を目指す。それぞれの項目において取り組む内容を検討し、関係部門と協力して削減を推進する。
<p>□ サプライチェーン排出量算定の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「Scope3」の算定範囲において、現在は限定されたカテゴリでの算定となっている。全体把握のため、データベースの整備・構築が必要。 ● 「Scope3カテゴリ1」の算定方法において、現在は排出量の約74.5%を占める「カテゴリ1」において、金額ベースで大まかな原単位をあてはめる方法で算定を行っている。より正確なCO2量を把握するためには、重量ベースでの算定が必要。 ● 排出量の評価において、企業の成長(店舗の増加)により、全体の排出量は増加する。削減策を適正に評価するためには、原単位による比較が必要。
<p>□ その他(任意)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Scpoe3については、全カテゴリの算定ができていないため、サプライチェーン全体のCO2排出量を把握するためにも、データを整備・構築していく。 ● 温室効果ガス排出量の算定をするにあたり、当該排出量の第三者機関によるGHG検証を取得した。〈Scope 1・Scope 2・Scope 3(カテゴリ1・カテゴリ14)〉

3 株式会社 ローソン

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 原材料・資材の調達量	● 3EIDベースの金額当たり原単位 ※環境省データベース
カテゴリ2「資本財」		※未算定(今後検討予定)
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 電気・蒸気のエネルギー使用量	● エネルギー量あたり原単位 ※温対法算定・報告・公表制度における排出係数
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	● 各配送センターのエネルギー使用料	● エネルギー量当りの原単位 ※温対法算定・報告・公表制度における排出係数
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量	● 廃棄物種類別原単位 ※環境省データベース
カテゴリ6「出張」	● 従業員数	● 従業員当りの原単位 ※環境省データベース
カテゴリ7「雇用者の通勤」		※未算定(今後検討予定)
カテゴリ8「リース資産(上流)」		※未算定(今後検討予定)
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」		※未算定(今後検討予定)
カテゴリ10「販売した製品の加工」		※未算定(今後検討予定)
カテゴリ11「販売した製品の使用」		※未算定(今後検討予定)
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 廃棄物種類別排出量	● 廃棄物種類別原単位 ※環境省データベース
カテゴリ13「リース資産(下流)」		※未算定(今後検討予定)
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 電気使用量	● 電気使用量当り原単位 ※温対法算定・報告・公表制度における排出係数
カテゴリ15「投資」		※未算定(今後検討予定)
「その他」		※オプションカテゴリーのため除外

4

株式会社 ローソン

算定結果

● 2016年度サプライチェーンCO2排出量

